

イノベティブな新技術・製品プレゼン発表会 登壇予定

プレゼン登壇企業（7/4現在：社名ABC、アイウエオ順）

タイトル	(株)AFIテクノロジーの事業について	登壇者	(株)AFIテクノロジー 代表取締役社長 円城寺 隆治 氏
登壇者プロフィール			
呼吸用保護具メーカーである重松製作所の研究者として10年間従事した後、2007年に静電現象の一種である誘電泳動を専門とするフィルテクノジャパン（株）を設立し、大学研究機関および食品飲料メーカーの研究者向けにフロー型分離ツールを開発。2013年に（株）AFIテクノロジーを設立し、DEPを導入した微生物の迅速分析装置「エレスタ」の開発に着手。2014年、代表取締役社長に就任。2012年に首都大学東京（旧東京都立大学）にて博士（工学）取得。専門は微生物学および誘電泳動（電磁気学）。			
タイトル	iPS細胞由来の心血管系細胞の実用化	登壇者	iHeart Japan(株) 代表取締役 角田 健治 氏
登壇者プロフィール			
投資会社にてバイオベンチャーの投資を担当。2013年にiHeart Japanを設立し、代表取締役に就任。			
タイトル	革新的結合試験を用いた化合物の探索	登壇者	(株)SEEDSUPPLY 代表取締役社長 樽井 直樹 氏
登壇者プロフィール			
武田薬品工業（株）で20年間にわたり、化合物スクリーニングに携わった。その間、ハイスループットスクリーニングの導入、化合物ライブラリの設計の他、新規アッセイ技術の導入、開発を積極的に行った。携わった創薬プロジェクトの一つであるカリウムイオン競合型アシッドブロック（はヒット化合物からの最適化後、上市（2015年）に至り、商品名タケキャブで販売されている（平成28年度創薬科学賞受賞））。			
タイトル	不妊治療のための子宮内フローラ検査の開発	登壇者	Varinos(株) 取締役 長井 陽子 氏
登壇者プロフィール			
2011年、東京大学大学院薬学系研究科にて博士号を取得。（独）産業技術総合研究所、東海大学医学部では研究員として遺伝統計解析・データベース開発業務に携わる。2014年、イルミナ株式会社に入社、シーケンシングスペシャリストとしてヒトゲノム研究のコンサルティングに従事。2017年、元同僚の桜庭氏と臨床ゲノム検査を開発・提供することを目的としたVarinos株式会社を設立、取締役に就任。ゲノム医療をより身近なものにすることを旨とする。			
タイトル	新概念の抗DNAウイルス薬	登壇者	(株)キノファーマ 代表取締役社長 黒石 眞史 氏
登壇者プロフィール			
2002年にウォーターベイン・パートナーズを設立し、バイオファーマ分野のアカデミア技術のインキュベーション投資に従事。2011年にキノファーマのCEOに任命され、以来、新概念の抗ウイルス薬の開発に取り組む。			
タイトル	自閉症スペクトラム障害治療薬の開発と関連事業	登壇者	(株)スカイシーファーマ 代表取締役 小上 裕二 氏
登壇者プロフィール			
1986年東洋醸造入社。1992年合併により旭化成工業医薬事業部（現旭化成ファーマ）入社、2006年旭化成ファーマ退社とともにPRISM BioLab株式会社創設、取締役 研究開発本部長就任、2010年PRISM Bio Lab退社、株式会社D.D.P.創設、代表取締役就任、2015年スカイシーファーマ創設、代表取締役就任。			
タイトル	糖鎖関連技術を用いた創薬ビジネス	登壇者	(株)糖鎖工学研究所 事業部 課長 落合 洋文 氏
登壇者プロフィール			
京都大学在学中に糖鎖の合成研究を開始する。博士の学位取得後、博士研究員として核酸や糖タンパク質の合成研究に従事。2009年に大塚化学株式会社に入社。2013年、(株)糖鎖工学研究所の独立とともに同社に入社し、糖鎖誘導体の合成及び医薬品への応用研究を担当。現在に至る。			
タイトル	ヘルスケア業界に独自AIで挑むハカルス	登壇者	(株)ハカルス 代表取締役 藤原 健真 氏
登壇者プロフィール			
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントにてエンジニアとしてゲーム機PlayStationの開発に従事した後、イスラエルの軍事ベンチャーに転職。その後、数社のテクノロジーベンチャー企業を共同創業。2回のエグジット経験を持つ。1社目はCTOとして日本国内の上場企業への売却、2社目はCEOとして米国企業への売却。2010年から活動拠点を京都に移し、京都が持つアカデミア知財の強みと世界に誇る食文化の高さを再発見する。1976年生まれ、滋賀県出身、京都在住。カリフォルニア州立大学コンピューター科学学部卒業。			
タイトル	高機能iPS細胞由来心筋細胞の実用化	登壇者	(株)マイオリッジ 代表取締役 牧田 直大 氏
登壇者プロフィール			
京都大学工学研究科所属。在学中に、マイオリッジの技術顧問である京都大学物質-細胞統合システム拠点（iCeMS）の南一成特定拠点助教の研究室にてiPS細胞の研究支援を行ったことをきっかけに起業を決意するに至り、2016年3月に京都大学を卒業後、同年8月に取締役CTOである末田伸一（京都大学iPS細胞研究所所属）と共に、南の研究成果を創薬支援や新薬開発に役立てるべく株式会社マイオリッジを設立。			
タイトル	レグセルー新しい免疫細胞医療創出への挑戦	登壇者	レグセル(株) 代表取締役 松田 直人 氏
登壇者プロフィール			
1989年早稲田大学大学院理工学研究科応用化学専攻(修士)修了後、富士フィルム株式会社に入社。2015年3月、株式会社iPSポータル入社 社長室長に就任。2016年1月、レグセル代表取締役就任。			